

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	大腸がん後方ラインのマルチキナーゼ治療継続性に関する初回サイクルの管理の重要性
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2024. 11 月～2026 年 3 月に当院で「フルキンチニブ」「レゴラフェニブ」の投与を受けた患者 小林由夏
③ 概要	大腸がん後方ラインで使用される「フルキンチニブ」「レゴラフェニブ」について投与の状況と有害事象を確認する。
④申請番号	第 726 号
④ 研究の目的・意義	後方ライン治療の管理について提案できる
⑥研究期間	承認日～2026 年 10 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテ記載の内容のみ。後方視的に解析する。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、治療期間、前治療、合併症、一般的採血項目、生存期間、画像情報、転機
⑨利用の範囲	本研究に限る
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏 内線 8029